

令和5年度第2回埼玉県東部地域保健医療協議会 議事概要

1 日時及び会場

令和6年3月13日（水） 午後7時30分から午後8時10分
埼玉県春日部地方庁舎 3階 大会議室（ウェブ会議システム併用）

2 出席者

- ・協議会委員（別紙名簿のとおり）
委員総数24名 出席19名 欠席5名
- ・事務局
保健医療政策課、春日部保健所、草加保健所、越谷市保健所
- ・傍聴者
2人

3 あいさつ

中村議長（春日部市医師会会長）

4 議事

冒頭でこの会議を公開とする旨の発議があり了承された。

- (1) 圏域別取組（第8次計画）策定に向けた意見照会のとりにまとめ結果及び骨子（案）について
春日部保健所から資料1-1に基づき圏域別取組策定方針について説明し、資料1-2により意見照会のとりにまとめ結果の説明がなされた。その後、資料1-3により圏域別取組（第8次計画）骨子（案）について協議を行い、承認を得た。

【質疑・応答】

特になし。

【主な意見等】

特になし。

- (2) 圏域別取組（第8次計画）策定に向けた今後のスケジュールについて

春日部保健所から資料2により、本協議会終了後の圏域別取組（第8次計画）策定に向けたスケジュールについて説明がなされた。

【質疑・応答】

特になし。

【主な意見等】

特になし。

- (3) 埼玉県東部地域保健医療協議会 東部（南）保健医療圏在宅医療部会の開催報告について

草加保健所から資料3、参考資料3-1及び参考資料3-2により、令和6年1月23日に開催した埼玉県東部地域保健医療協議会 東部（南）保健医療圏在宅医療部会の概要について報

告がなされた。

【質疑・応答】

- ・ 特になし。

【主な意見等】

- ・ 在宅医療を担っている先生方の不安は患者の急変時や、どうしても入院が必要となった際の入院の受入れについて、いかに受け入れてもらえるかという点。患者の急変時の受入れというのは、救急においても同様。救急体制・入院体制をいかに構築していただけるかということが今後の課題かと考える。

もう1点は在宅における老老介護の問題がある。在宅で老老介護となった場合に本人が自宅で介護を受けたいと思っても困難なことも出てくる。その辺の受け入れをしっかりとっていただきたいというのが部会の皆さんの意見であったと考えている。(吉川松伏医師会・平井委員)

(4) その他

全体を通した意見として次のとおりあった。

- ・ 圏域別計画に記載の内容を実現するには、従事する人材があつてこそのことかと考える。県では、しっかりと各圏域の人材を確保の準備をしていただきたい。(埼玉県保険者協議会・山本委員)

令和5年度第2回埼玉県東部地域保健医療協議会 委員名簿(出席者名簿)

(敬称略) 委員(出席19名、欠席5名)

	所属(推薦)団体及び役職名等	氏名	備考
1	春日部市医師会会長	ナカムラ ヤスフミ 中村 靖史	
2	越谷市医師会会長	ハラ スナオ 原 直	
3	吉川松伏医師会会長	ヒライ マコト 平井 真実	
4	草加八潮医師会会長	ナイトウ タケン 内藤 毅嗣	
5	三郷市医師会会長	クサナギ ヒロアキ 草薨 博昭	
6	東埼玉歯科医師会会長	トバリ ヒデオ 戸張 英男	
7	草加市薬剤師会会長	ナガヌマ マサヒロ 長沼 雅弘	欠
8	公益社団法人埼玉県看護協会(草加市立病院看護部長)	ムネヒロ ミナコ 宗廣 みな子	
9	埼玉県保険者協議会(全国健康保険協会埼玉支部企画総務部長)	ヤマモト ヒロミチ 山本 広道	
10	埼玉県保険者協議会(春日部市健康保険部参事兼国民健康保険課長)	キフネ ヒロミ 木舟 宏美	
11	春日部市民生委員児童委員協議会理事	ミヤモト キミコ 宮本 喜美子	
12	草加市食生活改善推進員協議会会長	カザマ カツ子 風間 佳津子	
13	越谷市食生活改善推進員協議会副会長	フクオカ マサコ 福岡 政子	
14	八潮市母子愛育会会長	ワイダ フサコ 和井田 房子	欠
15	春日部市健康保険部長	オリハラ ユキヲ 折原 章哲	
16	草加市健康福祉部長	サカタ ユキオ 坂田 幸夫	欠
17	越谷市保健医療部長	ノグチ ヒロキ 野口 広輝	
18	八潮市健康福祉部長	エンドウ マサユキ 遠藤 雅之	
19	三郷市いきいき健康部長	マシヨ トシユキ 益子 敏幸	
20	吉川市健康長寿部長	コバヤシ イヅミ 小林 以津己	
21	松伏町すこやか子育て課長	ホンダ ノボル 本多 登	欠
22	越谷市保健所長	ハラ シゲル 原 繁	
23	草加保健所長	ナガムネ ミユキ 長棟 美幸	欠
24	春日部保健所長	タナカ ヨシアキ 田中 良明	